

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	下水道浄化センター	内線等	67-7125
----	-------	-----------	-----	---------

事業コード		事務事業名	浄化センター維持管理事業		
根拠法令等	下水道法、水質汚濁防止法	(A法令)	B条例	C規則	Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	蒲郡処理区に居住する住民に対して
手段	下水道浄化センターで適正な維持管理運転をすることによって
想定する成果	生活環境の向上及び公共用水域の水質保全の安定的維持管理を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
下水道浄化センター			
処理水量	6,639,994 /年	6,223,327 /年	6,771,000 /年
汚泥処分量	3,426 t/年	3,372 t/年	3,477 t/年

成果指標

成果指標名	処理水質COD達成率
成果指標の説明	{ (測定回数 - 目標水質超過回数 / 測定回数) } × 100

事業の進捗状況 (下水道特別会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	100.0%	100.0%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	278,747	283,646	254,502
	人件費	16,358	23,136	23,582
	(人数)	2.0	2.8	2.8
	合計	295,105	306,782	278,084
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	295,105	306,782	278,084
	一般財源	0	0	0

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	年間を通して適正な維持管理をしている。
経済効率性	2	2	施設規模に対して流入水が少なく、稼働率が低い。
事務効率性	3	3	民間委託を実施して効率を図っている。
必要性	3	3	私たちの生活環境をよりよくし、公共用水域の水質保全に寄与している。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	小学生等市民の施設見学が毎年実施され、市民に公共下水道をPRできている。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	水質規制の強化対策に伴う投資効果の向上を図り、下水道の重要性を市民に理解してもらうこと。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

### これまでに実施した改善点

昭和52年8月に供用開始してから水質汚濁防止法の水質規制の強化に合わせて、COD、窒素及び磷をクリアーするように、運転方法等を改善することにより処理水質の向上を図った。

### 今後改善すべき点

適正な維持管理及び老朽施設の整備をする。

### 平成16年度予算に反映する項目

計画実施のため、予算確保をする。

### 組織、人員に関する提言

若い人材の確保が必要である。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	下水道浄化センター	内線等
----	-------	-----------	-----

事業コード		事務事業名	浄化センター整備事業				
根拠法令等	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律		(A法令)	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	蒲郡市下水道浄化センターの処理施設に対して
手段	処理施設の改築を計画的に実施して
想定する成果	処理量(質)の安定と機能の充実を図る。

事業の概要

(千円)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
主要工事	余剰ガス燃焼装置改築工事 37,800	送風機電気設備改築工事 75,600	水処理施設計測機器改築工事 27,756
	沈砂池電気設備改築工事 79,019	水処理施設計測機器改築工事 12,000	汚泥処理施設計測機器改築工事 40,000
	屋外消化ガス配管等塗装工事 2,205	ガスタンク塗装工事 1,785	脱水ケーキホッパ塔等塗装工事 1,900

成果指標

成果指標名	整備工事達成率
成果指標の説明	(年間整備工事件数 / 年間計画整備工事件数) × 100

事業の進捗状況 (下水道特別会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	100.0%	100.0%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	122,205	93,785	76,800
	人件費	8,358	8,263	8,422
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	130,563	102,048	85,222
財源内訳	国	62,000	50,600	39,900
	県			
	市債	52,200	37,200	31,100
	その他	3,521	1,798	1,740
	一般財源	12,842	12,450	12,482

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	事業計画時の目標は、クリアーした。
経済効率性	3	3	予算に見合った成果をあげた。
事務効率性	3	3	人員に見合った成果である。
必要性	3	3	事業主（市）が実施すべきもの
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	当整備事業は、長期基本計画に基づき毎年度実施している。
------	---	---	-----------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

昭和52年8月に供用開始以来、厳しい環境のもとで各機器は稼動しており、長年の使用により腐食、磨耗、劣化が著しく、平成3年度から毎年国庫補助金の交付を受け整備を実施している。

#### 今後改善すべき点

平成24年度までの長期計画が策定されているが、場合によっては計画の変更等を検討していく必要がある。

#### 平成16年度予算に反映する項目

計画実施のため、予算確保する。

#### 組織、人員に関する提言

若い人材の確保が必要である。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	下水道浄化センター	内線等	67-7125
----	-------	-----------	-----	---------

事業コード		事務事業名	中水道（下水道再生水）利用事業		
根拠法令等	下水道法		(A法令)	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け  
基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道
-----------------	-----

## 事務事業の内容

対象	下水道浄化センター周辺公共施設に対して
手段	水洗用水及び修景用水としての再生水送水施設を整備して
想定する成果	下水道資源である再生水の有効利用を図る

## 事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
再生水外部利用量	36,169 /年	37,444 /年	40,000 /年
再生水有効利用量	69,495 /年	70,708 /年	80,000 /年
再生水処理能力	127,750 /年	127,750 /年	127,750 /年
再生水利用料	4,340,280 円/年	4,493,280 円/年	4,800,000 円/年

## 成果指標

成果指標名	再生水の有効利用率
成果指標の説明	$(再生水有効利用量 / 再生水処理能力) \times 100$

## 事業の進捗状況 (下水道特別会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	62.3%
	実績	54.4%	55.3%	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	5,494	5,364	5,500
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	6,330	6,190	6,342
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	4,340	4,493	4,800
	一般財源	1,990	1,697	1,542

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ほぼ全体計画の施設は完成したが、利用が進まない。
経済効率性	2	2	中水道の維持管理費が高く、使用料金を上水道と比べると割高感がある。
事務効率性	2	2	浄化センターの施設の一部として維持管理し、安定した水質の再生水が確保できている。
必要性	3	3	東三河における水不足による恒常的な節水に対する対策及び水の大切さをPRするため必要である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	一般企業にアンケート調査を実施し利用を図ったが進んでいない。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	下水道資源である再生水の有効利用と、中水道の役割・重要性への理解が図られることが望まれる。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

再生水の水質を安定させ、利用方法及び利用施設を拡大した。

#### 今後改善すべき点

上水道に比べて使用料金が割高で利用が進まないのので、利用しやすい金額にして利用の拡大を図ること、再生水の維持管理基準の強化により、水質を適合させること。

#### 平成16年度予算に反映する項目

#### 組織、人員に関する提言

若い人材の確保が必要である。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載